

令和7年度認定こども園ごとう幼稚園の自己評価結果報告

記入者 園長 朝来野 早苗

令和8年4月1日

令和7年度 幼保連携型認定こども園

「ごとう幼稚園自己評価」の報告

令和7年度を終えて、

令和8年度が始まり1か月が経ちました。園児たちは、段々と幼稚園に慣れて、緊張もほぐれ幼稚園には可愛い笑顔と元気な声が広がっています。

さて、令和7年度の幼稚園の自己評価の結果をご報告させていただきます。私たち職員は、

①「それぞれがお友だちとの関わりを楽しみ生き生きと活動に取り組む。」

②「その歳児なりに自分で考えながら、主体的に活動に取り組む」ということをねらいとして、教育・保育に努めてまいりました。保護者の皆様のご協力もあり、子どもたちの大きな成長を見ることができ、とても嬉しく思います。ありがとうございました。

令和8年度も、私たちのモットーとする、目を掛け、声を掛け、手を掛けるまごころ保育に徹していきたいと思いますので、どうぞ、ご協力をお願いいたします。

A: よい

B: 改善の必要がある

項目		評価	改善策	
教育・保育目標	1	「教育要領」「保育指針」「教育・保育要領」に基づき、教育・保育理念、方針、目標、全体的な計画を編成しているか。	A	
	2	目標は、園や地域の特色を生かしているか。	A	
	3	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	A	
	4	目標は前年度の反省を生かしているか。	A	
	5	目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	
教育計画・保育	1	指導計画は子どもの理解に基づき、実態に即して作成しているか。	B	2号・3号の園児が多くなった為、指導計画を変更した。
	2	一人一人の子どもの実態等に応じて適切な援助・支援を行っているか。	A	
	3	主体的に活動できる環境の構成を行い、子どもの生活系遊びを豊かにする教育・保育を展開しているか。	A	
	4	評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	A	
日程	1	一日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。 デイリープログラムとは、登園～降園までの園児の生活（教育・保育）の流れをいう。	B	担任と園児たちと触れ合う時間が長く確保できるように改善した。
行事	1	行事の種類や内容、実施回数は適切か。 デイリープログラム	B	行事等の実施期間や内容の見直しを行った。
	2	行事の目標は、計画や実施内容に十分生かされているか。	A	
	3	子どもの活動内容を明確にし、主体的な活動をしているか。	A	
	4	計画・実施・評価・改善の体制ができていますか。	A	
	5	保護者の願いや意見を取り入れているか。	A	
運営	1	職務内容が明確で、仕事の分担・割り当て等、協働できる体制になっているか。	A	
	2	各種会議を適切かつ効率的にすすめ、回数、時間、内容は適切であるか。	A	

園 経 営 ・ 組 織	ク ラ ス 経	1	同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか。	A	
		2	評価、資料（書記録）を集積しているか。	A	
	保 健 ・ 安 全 指 導	1	火災や地震、不審者対応等様々な場面を想定した避難訓練及び安全教育を定期的実施しているか。	B	非常災害対策計画、避難訓練及び消火訓練結果表の策定・見直しを行った。保護者に送迎時、毎日引き渡しカードを提示出来るよう引き渡しカードの常時携帯を促した。
		2	事故や災害に適した対応をするためのマニュアルを策定し、職員間で正しく理解し、行動できるか。	B	
		3	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	B	
		4	子どもの安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	A	

項目		内容	評価	改善策	
職員の資質の向上	園内研修	1 主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	A		
		2 園内研修の計画・運営は適切か。	A		
		3 成果を日常の保育に活かし、子どもの育ちに反映させているか。	A		
		4 実践による子ども理解が深まっているか。	A		
	園外研修	1 各種研究会、研修会、講習会への参加体制が充実しているか。	A		研修した内容を保育に反映できるよう、研修内容を全職員と共有する。
		2 各種研究会、研修会、講習会の内容を園内に還元されているか。	B		
情報について	1 子どもや保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	A			
	2 業務上知りえた子どもの情報に関する守秘義務について全職員に周知しているか。	A			
	3 「園・クラスだより」等で、保育実践の内容や意図、子どもの様子を適切に伝えているか。	A			
施設・設備	1 施設内外、設備の安全点検を計画的に行っているか。	A			
	2 遊具・用具を活用しやすいように整理・保管をしているか。	A			
	3 不審者対応等危険を伴う事案に対しての対策が練られているか。	A			
開かれた幼児教育・保育施設作り	小学校・施設間交流	1 他の幼児教育・保育施設や小学校との年間交流計画は、互恵性のある内容を連携して行うものになっているか。	A		
		2 指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同会議を行い、互いに教育・保育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	A		
		3 保育・授業参観に参加することを通して、互いの保育・教育を理解しているか。	A		
		4 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。	A		
	家庭・地域との連携	1 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切であるか。	A		
		2 乳幼児の興味や関心に基づいて地域の人やその他の施設と交流しているか。	A		
		3 地域行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	A		
	子育て支援の推進	1 地域の子育て支援センターとして、園庭や保育室を開放しているか。	A		
		2 地域に住む子ども同士や親子と一緒に遊ぶ事が出来るような場の設定を行っている。	A		
		3 「子育てについて」等、保護者を対象とした学習の機会を設けているか。	A		
		4 職員による育児に関する「子育て相談」は充実しているか。	A		
		5 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A		
情報の発信	1 園だより・クラスだより・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	A	施設や小学校との会議等を利用して情報の発信に努める。園児の状況を細かく伝えるように、「週だより」から「クラスだより」に変更した。		
	2 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に周知しているか。	B			
外部評価	1 施設運営に反映するため、第三者評価を導入または検討しているか。	B			
	2 地域の人や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	A			